

11/11
4

I-0920

4

歐米局

第一課

昭和四年七月七日接受

第六八號

昭和四年七月五日

在武市

領事 平塚晴隆



外務大臣男爵幣原喜重郎 殿

黑龍江及セイヤ西河増水ノ件

客月初旬以来、塞管区並、セイヤ、ソレンス、西管区地方一帯、亘り連日、豪雨、為黑龍江、セイヤ、西河上流地方、氾濫ト共、漸次、舊地方、西河、異常増水ヲ来リ、昨年、度、洪水、為被害セシ、舊市及其他、西河沿岸地方、住民、今迄、増水、依リ、月下、大ク、神聖ノ、悔ミ、ク、カ、七月、五日、舊地、概用紙、覆表、依リ、七月、一日、計量、黑龍

871.48

CH

江上流、ソレンス地方、平時、比、増水量、七米、突、四、センチ、其、對岸、支那、領、ソレンス村、大半、浸水、全、アル、バ、チ、村、對岸、某、支那、村、全部、浸水、為、該地方、ソ、エ、上、官、憲、ハ、特、被、害、支那、民、露、領、一、時、的、難、難、ヲ、許、容、シ、南、米、セイヤ、河、ト、共、刻、増水、全、ケ、エ、ル、エ、ラ、附近、四、日、前、計量、増水、八、米、突、二、〇、センチ、武市附近、全、五、米、突、五、六、センチ、又、武市附近、セイヤ、河、全、五、米、突、八、センチ、シ、テ、月下、増水、ノ、著、シキ、箇、所、ハ、前、記、ケ、エ、ル、エ、ラ、附近、並、セイヤ、河、岸、マ、サ、ノ、ワ、附近、シ、テ、武市、近、三、日、間、増水、更、著、シキ、モノ、アル、キ、見、込、ナル、モ、黑龍江、流域、ハ、於、テ、ハ、ケ、エ、ル、ニ、ヤ、テ、以、西、セイヤ、河流域、マ、サ、ノ、ワ、以北、ハ、天候、恢復、ト、共、七月、四、日、ヨリ、漸次、減水、ノ、徴、アル、ク、今、日、降雨、ノ、連続、ナキ、限リ、舊地方、昨、年、如キ、大、洪水、ニ、襲、ハ、ル、如キ、ユ、ト、ナ、ル

I-0920

49

歐米局

第一課

水

田

昭和四年七月拾六日接受

BI

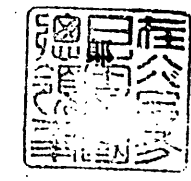
普通第二〇一號

昭和四年七月五日

在ハバロフスク

總領事 山口 爲 太

外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿



極東地方ノ洪水及其ノ對策ニ關スル件

極東地方ニ於ケル客月末以來連日ノ降雨ハ各河川ノ水量ヲ激増シ
黒龍江ノ上中流及烏蘇里沿岸ノ一部村落中ニハ既ニ洪水ノ災厄ヲ
蒙リタルモノスラアリ月初以來日日ノ新聞ハ上記各地方ニ於ケル

67/A.48

BII

水害ノ切迫ヲ報道シ各機關ノ豫防對策ヲ公表スル等前二ケ年引續
ケル水厄ノ後ヲ受ケテ今ヤ極東全住民ノ水害ニ對スル不安ハ甚大
ナルモノノ如ク極東地方執行委員會カ今回ノ洪水ニ關シ露西亞共
和國人民委員會議ニ報告セル處左ノ如シ

一、第一報（七月四日極執機關紙所載）

連日ノ降雨ト浦潮管區ヲ通過セル颶風ノ結果洪水ヲ惹起セリ報
告ニ依レハ浦潮管區ニ於テ七月一日現在二十二ケ村浸水、ス
チヤン支線ハ全ク水ニ洗ハレス、チヤン炭坑ノ二坑ハ浸水ノ危
險ニ瀕シ二坑ハ既ニ浸水セリニコリスク、ウスリスキ市ノ東
部人口五百ノ住家八〇戸ハ氾濫河水ニ浸サル
黒龍江ノ水量ハ刻々増大シ「ゼーヤ」河亦同様ナリ若干村落間

I-0920

ノ連絡ハ杜絶シブラゴヴェシチエンスク附近ノ臨港支線ノ損害ハ更ニ激シ
「ゼーヤ」管區ノ黑龍江水量ハ處々ニ平常水準線ヲ七四〇糎超過
シ村落ノ一部ハ浸水シ住民ハ魯安全地帯ニ避難セリ「ゼーヤ」市
トノ電信連絡ハ杜絶ススレチエンスク管區ニ於テハウスチ、カラ
村浸水セリ

各地ニ於テ「ダリレズ」及「ダリレズザグ」ノ木材準備員等遭難セリ各
地ニ人命ノ被害アリ地方到ル處ニ災害防止ノ非常委員會組織セラ
レ炭坑運輸及通信ノ復舊作業展開セラル目下被害瀕取調中
第二報（七月五日極執機關紙掲載）

極東地方執行委員會幹部會ヨリ露西亞共和國人民委員會會議及財務
人民委員會ニ電報セラレタル洪水第二報ニ於テ極執委員會ハ人民

委員會會議ノ準備金トシテ豫定セラレタル一九二七—二八年度剩餘
金中ヨリ五十万留ヲ災害防止ノ第一^次的^次手段トシテ極執委員會ノ
處分ニ委スルノ必要ヲ指摘セリ（以上）

上記極執委員會ノ報道ニテ知ラルル通り烏蘇里鐵道本線ニハ目下
何等ノ被害ナク其ノ他ニ於テモ特記ス可キ被害ノ報道ニ接^キサル
カ極東地方ノ各河川ノ水量ハ今尙ホ減少ノ見込無キノミナラス黑
龍江ノ中流ニハ目下猛烈ナル降雨アリテ河川ノ^最高水準ニ達スルハ
來ル八日頃ト豫^告セラレタル外天候亦恢復ノ模様無キ爲人心極度
ニ不安ニ動搖シツツアリ地方各機關ハ水害豫防對策ニ腐心中ニシ
テ其ノ對策中重ナルモノ左ノ如シ

一、極執委員會幹部會ノ臨時會議、各地洪水ノ報道ニ關聯シ極執委

BII

BII

員會幹部會ハ七月一日臨時會議ヲ開催シ各管區ニ於ケル洪水模様
ニ付報告アリタル後會議ハ「ゲベウ」長官「メドヴェヂ」ヲ會長
トスル極東地方水害豫防非常委員會ヲ組織シ^且地方農務廳ニ對シ地
方各河川ノ水準觀測ヲ實施シ併セテ右ニ關シ組織的ニ報告ス可キ
事ヲ指令セリ

一、地方財務部ハ洪水豫防ノ第一次的手段ヲ施行スル爲必要ノ金
額ヲ捻出スル様委任セラル

一、極東委員會ハ總ユル機關ニ責任アル官吏ノ當直ヲ組織スル様
指令セリ

一、極東地方商業部ハ被害地用トシテ穀物一万吨ヲ「ツェントネル」ヲ
指定セリ

B11

一、極東通信廳ハ「ブラゴヴェシチエンスク」及「ゼーヤ」ニケ所ニ至急短波
長「ラデオ」局ヲ派遣ス可キ旨指令ヲ受ケタリ

一、黒龍江國家商船隊ハ地方委員ヨリ「ブラゴヴェシチエンスク」ニ在ル豫
備商船五隻ヲ被害地ニ派遣方指令ニ接セリ

右ノ外炭坑ノ浸水ニ關聯シ燃料供給ニ付對策講セララル

右御參考迄報告ス

在露大使

在浦潮總領事

在「ブラゴヴェシチエンスク」領事

B11

48
11

歐米局

第一課

昭和四年七月廿一日

普通第二〇七號

昭和四年七月十二日

在ハバロフスク

總領事 山口 爲 太



外務大臣男爵幣原喜重郎 殿

極東地方洪水ニ關シ續報ノ件

本件ニ關シテハ本月五日附拙信普通第二〇一號ヲ以テ不取敢及報告置タル處其ノ後當地極執機關紙ノ報道ノ梗概左ノ如シ

七月二日ヨリ五日ニ至ル間「アムール」及「ゼーヤ」河中流地點

671A.48

Manuscript

ニ於ケル水量ハ引續キ増加シ「ゼーヤ」管區ニ於テハ昨年ノ被害村落再ヒ遭難セリ五日「ゼーヤ」増水ノ結果「ウスリ」鐵道五〇五軒ノ地點（ミハイロ、チエス、^{カサカ}）驛附近）ニ於テ列車運轉ヲ中止ス六日「ブラゴヴェシチエンスク」支線上約五〇軒許リノ間氾濫水線路ヲ超エテ流通ス「アムール」中下流ニ於ケル被害ハ昨年ヨリ幾分輕少ノ見込ミナリ

（以上極執幹部會公報大要）

七月五日極東地方水速測定局ハ「アムール」中流ノ天候ハ恢復ノ模様ナル旨發表セリ

七月九日「ボチカリヨウオ」通信員發電報ニ依レハ「ゼーヤ」河橋梁附近ノ増水ハ止ミ目下旅客ハ復舊作業中ノ迂回線ニ沿ヒ樂徒

BII

歩連絡中ナルカ列車ハ同日中開通ノ見込ナル由ナリ
尙ホ七月十日ノ報道ニ依レハ去ル六、七日「チタ」方面「アム
ル」上流地方ニ猛烈ナル降雨アリタル趣ニテ烏蘇里、松花江等大
少幾多支流ノ時ヲ同フ^ス増水ニ當地方官民ハ引續キ異常ノ緊張
ヲ續ケツツアリ
右報告申進ス

一不
要

本信寫送付先

在露大使

在浦潮總領事

在ブラゴウエシチエンスク領事

普通第二〇七號

昭和四年七月十二日

在ハバロフスク總領事 山口爲太郎

外務大臣 男爵幣原喜重郎殿

極東地方洪水ニ關シ續報ノ件

本件ニ關シテハ本月五日附拙信普通第二〇一號ヲ以テ不取敢及報告
置タル處其ノ後當地極軌機關紙報道ノ便概左ノ如シ
七月二日ヨリ五日ニ至ル間「アムール」及「ゼーヤ」河中流地點ニ
於ケル水量ハ引續キ増加シ「ゼーヤ」管區ニ於テハ昨年ノ被害村落
再ヒ遭難セリ五日「ゼーヤ」増水ノ結果「ウスリ」鐵道五〇五軒ノ
地點（「ミハイロ、チエスノコフスカヤ」驛附近）ニ於テ列車運轉

外務省

I-0920

ヲ中止ス六日「ブラゴウエシチエンスク」支線上約五〇軒許リノ間
氾濫水線路ヲ超エテ流通ス「アムール」中下流ニ於ケル被害ハ昨年
ヨリ幾分輕少ノ見込ミナリ

(以上極執幹部會公報大要)

七月五日極東地方水速測定局ハ「アムール」中流ノ天候ハ恢復ノ模
様ナル旨發表セリ

七月九日「ボチカリヨウオ」通信員發電報ニ依レハ「ゼーヤ」河橋
梁附近ノ増水ハ止ミ目下旅客ハ復舊作業中ノ迂回線ニ沿ヒ徒歩連絡
中ナルカ列車ハ同日中開通ノ見込ナル由ナリ

尙ホ七月十日ノ報道ニ依レハ去ル六、七日「チタ」方面「アムール」
上流地方ニ猛烈ナル降雨アリタル趣ニテ烏蘇里、松花江等大少幾多

外 務 省

支流ノ時ヲ同フスル増水ニ當地方官民ハ引續キ異常ノ緊張ヲ續ケツ
ツアリ
右報告申進ス

外務省

4.5

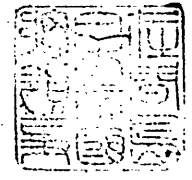
I-0920

歐米局
機密第八五五號

昭和四年七月二十五日

在間島

總領事 岡田兼



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

露領沿海州地方、水害状況ニ關スル件

(琿春頭道溝分署長報告)

本件ニ關シ七月十一日極東政府、調査發表シタル處ニ依リハ沿海州イマンスカヤ地方水害状況及當局ノ救護措置ニ關スル布告等左ノ如シト御參考迄

1714. 78

記

一、地方別被害状況

地名別	種別	被害反別	被害價格	備考
沿海州 イマンスカヤ	稲	百五十日耕	一万五千留	沿海州地方於テハ 百耕ハ裁約ニ 千四百坪ニ相 当ス
水青	ク	千三百日耕	十三万留	
クコロチカ	ク	七十日耕	七十留	
チフノスカ	ク	二百日耕	二万留	
秋風	大小麦	百七十日耕	八千四百留	
クイマン	大豆	百三十日耕	七千八百留	
クハハロラスク	稲	三百日耕	三万留	
クハマクン	ク	二百五十日耕	二万五千留	

二、官憲ノ救護措置

極東政府ハ以上ニ示セル水田ハ在露鮮農ヲ使用シ

テ之ヲ經營ニ居レルカ此等鮮農ハ本秋ノ收穫カ
皆無ナルヘキヲ見越シ支那領ヘ轉住セムトシツ
ツアリ同政府ハ此等鮮農ヲ救護シテ慰撫ニ
努メ之ヲ使役シテ流失田畑ノ復舊工事ヲ施
サムトシ同月十三日左記内容ノ布告ヲ為シタ
リト

記

一、沿海州各地ニ於ケル鮮農ニシテ今回水災ノ為農作物
流失シ收穫ヲ期シ難キモノニ對シテハ官ニ於テ之
ヲ救護シ一切ノ國稅ヲ免除ス
又、各水害地ヲ管轄スル郡區ノ執行委員會ハ速ニ
其ノ罹災鮮農ヲ使役シテ流失シタル田畑ノ復舊
工事ヲ施スヘシ

二、復舊工事ニ從事スル鮮農ニ對シテハ一日一留ノ
勞働賃銀ヲ給與スヘシ
又、復舊工事ニ從事シタル鮮農ニシテ明春引續キ
農業ニ從事スル者ニ對シテハ同年收穫期迄
ニ要スル糧食ハ官ニ於テ無償配給スヘシ
又、罹災鮮農ノ支那領其他國外ヘ轉住ヲ禁ス

本信寫送付先

北平公使 奉天吉林哈爾濱各總領事 長春領事
朝鮮總督 咸南咸北各知事 間島派遺員
管内各分館主任 各署長 分署長

151

歌米局 第一課

昭和四年九月三日 接受

普通第二六三號

昭和四年八月二十二日

在ハバロフスク

總領事 山口 爲 太

外務大臣男爵 幣原 喜 重 郎 殿



極東地方洪水ニ關シ續報ノ件

本月九日附普通第二四六號拙信ヲ以テ及報告置キタル極東地方ノ洪水ニ關シ其ノ後當地極執委員會機關紙上ニ現ハレタル記事大要左ノ如シ

671A.48

BII

八月十五、十六日所報。松花江ノ合流地點附近、烏蘇里河、「ハバロフスク」以下ノ黑龍江共ニ増水ス

八月十七日所報。松花江合流地點附近ハ最近ノ猛雨ト松花江ノ増水トヲ受ケテ相變ラズ増水ヲ續ク。「イマン」「ハバロフスク」ヲ通過セル暴風雨ハ烏蘇里河下流及「ハバロフスク」附近ノ黑龍江水量ヲ激増セシメ烏蘇里河下流「ビキン」ニ於テハ三米ノ増水アリ烏蘇里河及「ハバロフスク」附近黑龍江ノ増水ハ今後尙五六日間繼續スヘシ

八月十八日所報。烏蘇里河「ビキン」河ノ合流地點附近ノ數ヶ村浸水ス「ハバロフスク」附近黑龍江ノ水準五一一種ヲ超過ス
管區特別委員會ハ「ハバロフスク」ノ經濟諸機關及沿江住民ニ對

I-0920

情報部

通商局

6719.48

歐米局

第一課

第一課

昭和四年拾月廿一日

BI

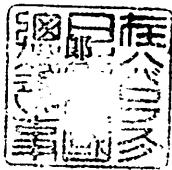
普通第三二七號

昭和四年十月七月

在ハバロフスク

總領事 山口 爲 太

外務大臣男爵 幣原 喜重 郎 殿



極東地方洪水ニ關スル件

八月二十二日普通第二六三號拙信ニ關聯シ極東地方洪水狀況ニ付其ノ後當地極執機關紙上ニ現ハレタル記事ヲ綜合スルニ黑龍江下流方面ハ大体ニ於テ順調ニ減水シ當市附近同江ノ水量ハ今年再洪水ヲ傳ヘラレ

シ昨年度ノ洪水水準以上ノ増水ヲ期待セララルル新ナル脅威ニ付警告スル所アリタリ

八月二十二日所報。黑龍江ノ上流及「ハバロフスク」迄ノ中流減水ス烏蘇里河ノ洪水ハ黑龍江ヘノ合流地點ニ迄及「ハバロフスク」市附近ニ於ケル同江ノ減水ヲ抑制シ十九日及二十日ノ「ハバロフスク」市附近水量ハ増減シ水準ハ平時以上五二三糎ニシテ昨年ノ洪水當時ヨリ六五糎低シ

烏蘇里河下流地方「ホール」河ハ各所ニ於テ「キーヤ」河ト合流シ廣表二一五糎ニ互ル水ノ平原ヲ形成セリ

右御參考迄報告ス

本信寫送付先 在露大使 在ブラヂェエシチエンスク領事

BII

I-0920

タル八月上旬當時ヲ最高トシ八月下旬ニ於テ平時水準超過約五米客月
末ニ於テ約三米半ニ減退セリ烏蘇里河方面ハ今年被害地中最激甚ヲ傳
ヘラレタル地方ニシテ一雨一米ノ増水ヲ招キタル場合屢々アリ九月上
旬ニ於テ尙平時水準ヨリ七米餘ノ超過水量ヲ持スル箇所アリタル状態
ニテ安全ナル減水期ニ入りタルハ僅カニ客月中旬以來ニ過キズ從ツテ
洪水被害高モ極メテ甚大ニシテ八月末ニ於テ既ニ昨年大洪水ノ脅威ヲ
再現セリト傳ヘラル極東地方一般ノ洪水被害高ニ關シテハ未タ綿密ナ
ル統計ノ發表ニ接セサルモ客月二十一日附極執紙カ極東計畫部ノ統計
トシテ概報スル所ニ依レハ約千萬留乃至千二百萬留ト見積ラレ居リ一
昨年ノ洪水被害七百五十萬留昨年ノ被害二千八十萬留ヲ合計シ最近三
ヶ年連續セル洪水ノ結果當地方カ蒙リタル被害高實ニ約四千萬留ニ達

BII

スル旨ヲ傳ヘ居レリ
(右何等御參考迄報告ス)

(本信寫送付先 在露大使)

BII